

## 朝日親と子の

## 自然環境教室レポ



## 小島 武雄

10月13日、朝日親と子の自然環境教室が、秋晴れの中開催されました。

参加者は、子ども24名、保護者27名、シニアスタッフ12名の63名。

当会のスタッフは25名、9時に集まり手際よく、会の幟、環境教室の表示看板取り付け、椅子の配置を終え、皆で畑にてマムシの追い出しにかかりました。「いました！見つけました！」まだ若いマムシですが、噛まれると大変な事に、ペットボトルに生け捕り、子どもたちに見てもらうことに。

10時40分の開会で、千載会長による現在のならやまがどのように整備されてきたかについて、わかりやすい話の後「稲刈り体験」です。鈴木さんより、稲の刈り取り、結束、稲架がけの指導を受け、生きたマムシも披露して、一斉に畑に入ります。子どもたちを先頭に保護者が後について、2班に分かれて刈り始めます。初めて鎌を持つ子どもたちは、なかなか説明通りにスパッと切れません。刈った稲は纏めて束ねます。だんだん調子が出てきて、予定通り50分ぐらいで、稲はすっかり刈り取られました。



## 稲刈り体験

BCに戻る頃には、豚汁の準備ができています。里山の豚汁は大人気で、お代わりする人も

沢山。熱々のダッチオーブン焼き芋もあっという間になりました。みんな季節外れの暑い日差しを避けてテントや木陰の下で昼食です。

12時45分、午後からは「薪割り」と「ロープ登り」に別れて、スタートです。薪割りは、機械を操作する子と、丸太を台に設置する子の真剣なまなざしが見られ、すぐ隣では保護者のお父さんの斧での薪割りで拍手が起こりました。



## 機械で薪割り体験

ロープ登りは、いつもながら子どもたちより保護者の方の方が、大変そうでした。「小木伐採」は、なかなかノコギリで思うように切れないけれど、懸命にやってくれました。

いつもの「山のアスレチック」は大人気でした。



## 森のアスレチック

皆伐地では萌芽の株を見て、植樹の成長の話。展望広場を経てシイタケ生育地を巡り予定通り14時40分にBC到着。

千載会長による「里山のお話」は、みんな静かに聞いてくれました。最後に「お土産」ジュズダマ、鹿の折り紙、猫じゃらしのウサギを、大事そうに持って帰ります。

秋のイベントは無事に終了しました。スタッフの皆さまありがとうございました